# 愛知県被災者支援センターニュース 第137号 令和4年5月25日発行

# あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター 住所:名古屋市東区泉 1-13-34 名建協 2 階

TEL:052-971-2030 FAX:052-971-2050 開館:月曜~金曜 10 時~17 時



二種類の木が、愛知県で育っています!!



宮城県のどんぐりが愛知県で育てられ、 私の腰までになりました!「千年希望の丘」 (岩沼市)に送られ、防風林になります。



コープふくしまの富岡町「夜の森さくら プロジェクト」の子孫の苗木が育ち、豊 橋市のコープあいちで花が咲きました。

#### 募集中

### 

**☆『あおぞら』編集委員:** 「私のお気にいりスポット」や「私のおすすめの一冊」、「我が家の自慢のレシピ」等の取材・投稿

**☆新聞スクラップのボランティア:** 定期便に同封の東北の地元

新聞(『河北新報』・『福島民報』)のスクラップ作業

**☆表紙の絵・写真:**お子さんの絵、または趣味の写真など

愛知県・新型コロナウイルス感染症「県民相談総合窓口」

(コールセンター)

電話:052-954-7453 (9:00~17:00 土・日・祝も毎日)

新型コロナウイルス感染症が心配な時の看護師による一般相談

窓口 愛知県感染症対策局感染症対策課

電話:052-954-6272 (9:00~17:30 土・日・祝も毎日)

≪もくじ≫

PI.表紙写真 ①、②

P2. お茶っこサロンなごや

P3. あおぞらカフェ「オンライン・ヨガ講座」第3弾

P4.「岩手県宮城県気軽にお茶 飲み交流会」(東海市)、ウク ライナ避難者支援ネットワーク

P5.福島第一原発事故 全国の 集団訴訟の動き

P6. 投稿/「宮城県のどんぐり」

P7.「おすすめの一冊」、「18 歳で成人を迎えて想う①」

P8.イベント情報、さっちゃんの

レシピ、編集後記

#### お茶っこサロンなごや・名古屋城花見会

3/26(土)名古屋城で、お茶っこサロンなごや・お花見会交流会(主催:東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや)が開催されました。参加者は12世帯32名(大人22名、子ども10名)でした。

あいにくの雨模様でしたが、久しぶりのお茶って サロンなごやで、天気にもめげず多くの参加者があ りました。ちょうど咲き初めの桜を眺めたり、本丸 御殿の見学では、その豪華さにため息が出ていたり、 お花見弁当を食べながら、それぞれの近況にも花が 咲いていました。



前日の好天気と打って変わって、雨が…







復元された本丸御殿の絢爛豪華さ!





主催者のごあいさつ。寄り添う姿勢が温かい。

\*ボランティアセンターなごやでは、東日本大震災の「語り部」 への参加を呼び掛けています。ご自分の体験を話し、震災を風 化させない防災の取り組みです。お問合せはボランティアセン ターなごやへ。070-5587-7153(平日 9~17 時)

#### あおぞらカフェ「オンラインヨガ |

#### 「ヨガで自分の健康を守る」第3弾

4月16日(土10:30~12:00)に、2022年度第一回目のオンラインであおぞらカフェ「ヨガで自分の健康を守る一第3弾」を行いました。講師はこれまでと同じく、まなみん。さん。参加者は6世帯(大人7人・小人1人)計8名でした。



オンライン参加者のスクリーンショット。 初参加の人もありました。

#### 動画はこちらから見られます↓

【前半動画リンク】 https://youtu.be/08GdOhitGvI

【後半動画リンク】 https://youtu.be/mf2MoxmXDrY

#### <参加者の感想>

まなみん先生の陰と陽のバランスのお話など、なるほどなぁと興味深く、すぐ陰に傾きがちな私は、バランスが取れるように少しでも毎日続ける事が大事だなぁと痛感しました。このバランスが崩れている事で、ポジティブ思考にもなりにくいし、創作意欲も出ないまま 10 年以上絵筆もまともに持てないままになっているのかもしれないな…と思いました。このままではほんとにマズイと危機感を感じているのですが、あきらめず、バランスを取り戻す事ができるように少しづつでもやってみようと思っています。

娘も楽しかったみたいで、スイーツも嬉しそう に類張っていました。娘は映る気満々だったみた いですが、私が恥ずかしくて結局カメラをオンに 出来なかったのですが。まなみん先生の太陽のよ うな笑顔に元気をいただきました。(中略) あれこ れ前向きな考えも浮かんで来たりして、色々とポ ジティブなパワーをいただきました。

リモートでもかなりわかり易かったです!最後 まで参加したかったのですが、家族がいると難し かったです。 【前半】





【後半】

ョガをやってみて動かない部分とかをよりよく 理解することが出来ました。意識して部分的に体 を動かすことでかなりの効果を感じることが出来 たので良かったです。

とても楽しい時間をありがとうございました。 まなみんさんのご指導で心は楽になり身体は活性 化する感覚でした。内観すること大事にしようと おもいました。家で継続していくこと心がけます。

「まなみんさんの講座は、とても分かりやすくで楽しいので、笑って動いてパワーを充電できて元気になれます。一つ一つの動作の意味も教えてもらえるので、学びになるだけでなく記憶にも残ります。日常生活の中に取り入れることができて、姿勢がよくなったり体のコリや痛みが減って、ありがたいです。ぜひ定期的に開催して頂きたいです。

毎回送って頂く心のこもったお菓子やお茶も楽 しみになっています。それぞれ違う場所で参加し ていますが、同じお菓子、お茶を頂くことでつな がっている感じがして嬉しいです。

#### 岩手県宮城県 気軽にお茶飲み交流会 5/15(日)

5月15日(日)、東海市しあわせ村の保健福祉センターの 会場で、岩手県宮城県「気軽にお茶飲み交流会」を開催し ました。参加者は7世帯8名(避難元:岩手県4世帯5名、 宮城県3世帯3名)で、内お一人はオンライン参加でした。

#### <参加者のアンケートより抜粋>

- ・爽やかな5月に、久しぶりに懐かしい人たちにお会いでき ました。皆様のおかげで元気に過ごしています。年に2,3 回、お会いできるのが私の楽しみを増やしてくれています (O)
- ・半年ぶりに交流会に出て、なじみの方々、ボランティアの 方々にお会いでき、近況を聞き、とても充実した時間を過 ごさせてもらいました (M)
- ・アロマでいやされ、温灸で体が楽になりました(M)
- ・今日は本当に楽しかった(K)
- ・カモミール、レモンバーム等の手浴、とても香り良く、 ホカホカと発汗し、とてもいやされました(T)
- ・久々の調理室、懐かしく、居心地の良さを感じ、楽しく

時間を過ごしました。雑 談しながら、皆さんの 楽しそうな表情を見て、 自分も元気になりまし た(S)











#### ウクライナからの避難者の支援

「ウクライナからの避難者の方々への支援はどんな様子ですか?」というお声が数人の方から 届いています。「自分にできることがあれば助けたい」「11年前に自分たちが避難してきた時と同 じだから」「何かボランティアはありませんか?」と。

現在愛知県へ避難されている方は、わかっている範囲で 23 世帯 44 数名(5/6 現在)、主に子 どもを連れた女性たちで、親族の元を頼って言葉の分からない異国の地での不安な生活を始めら れています。

レスキューストックヤードでは、これまで愛知県から愛知県被災者支援センターの支援活動を 受託してきた経験を活かして「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネット ワーク」を立ち上げ、名古屋市始め各市や NPO 団体等と連携しながら支援活 動を行っていくことになりました。住居や生活物資の支援、日本語学習や子 どもたちの教育支援、就労支援、心のケア等のサポートに当たっていきます。



# 東京電力福島第一原発事故 全国の集団訴訟の動き

東京電力福島第一原子力発電所事故で避難した福島県などの住民が、国と東電に損害賠償を求めた4件の集団訴訟で、最高裁第2小法廷は、2022年3月に東電側の上告を退ける決定をしました。この判決により、4訴訟の高裁判決(下の表を参照)のうち、東電に対しての総額約14億円の賠償を命じた部分が確定したことになります。

原子力損害賠償法に基づき、過失の有無にかかわらず事故の賠償責任を負う仕組みがあり、東電はこの「中間指針」に基づいて賠償額を主張していましたが、いずれの二審判決も避難が続く精神的苦痛だけでなく、生活基盤やコミュニティーを失った損害を認め、国が定めた賠償基準「中間指針」を超える支払いを東電に命じたものになっていて、これが確定することになったものです。

なお国の責任については、4月から5月に最高裁が上告審弁論を開き、この夏にも統一判断が示される見通しになっています。

#### 原発避難者の司法判断

	一審判決 二審判決	国の責任	対象の原告人数 (東電の賠償額)	
福島訴訟 (生業訴訟)	福島地裁	認める	3,550 人	
	<b>仙台高裁</b>	<b>認める</b>	(約 10 億 1,000 万円)	
群馬訴訟	前橋地裁 東京高裁	認める <b>認めない</b>	90 人 (約 1 億 1,900 万円)	
千葉訴訟	千葉地裁	認めない	43 人	
	<b>東京高裁</b>	<b>認める</b>	(約 2 億 7,700 万円)	
愛媛訴訟	愛媛地裁	認める	22 人	
	高松高裁	<b>認める</b>	(約 4,600 万円)	





	弁論を経て	
最高裁	夏あたりに	確定
	統一判断へ	

資料出典:日本経済新聞、福島民友新聞より

#### 投稿//岩沼市「千年希望の丘」(宮城県)のどんぐりの苗が、

#### 愛知ですくすく育っています!



私は福島から愛知へ家族で避難をして、今年の7月で10年になります。子育てが落ち着いた頃から私も働き始め、今は刈谷市で運送会社の事務員として勤めて2年半ほどが経ちました。職場の方々には避難してきた私の事情を理解していただき、皆さんの心遣いにとても感謝しながら日々を過ごしています。

そんな私は、先日会 社の上司とお話しして いた時に、「宮城県岩沼 市に植樹活動をしてそる 場所があってたどよっ に会社で育りますまし りの苗を送りまださまし た。詳しく聞いてみる



と、『千年希望の丘』という場所に、たくさんの方が植樹している活動の一環で、宮城で採れたどんぐりの実を育てているということでした。

3年前にどんぐりの実とどんぐりが育った環境の土を送ってもらい、大事に育て、今は50cm~1 m ほどまで成長しました。育てた上司は、「愛知のどんぐりの実はとても大きく、冬になると落葉する。だけど、宮城のどんぐりの実はとても小さく、

落葉もしない」と教えてもらい、私も新たな発見でした。きっと、東北の環境に適した種類なのでしょう。これらの苗には、「これから岩沼市にはり、厳しい冬も乗り越



えて元気に育ってほしいな」と、そんなふうに願いました。今はコロナ禍で帰省もなかなか出来ませんが、いつか『千年希望の丘』で大きくなったどんぐりの木に会いに行こうと思います。

震災から 11 年という長い月日が経ちましたが、この間、全国でたくさんの方が東北を支援し続けてくださっていること、そして、私の身近な所でも、東北のためにと力を尽くしてくださっていたこと、また愛知に避難し、今後の生活に不安だったあの時から、ずっと声をかけ続けてくださっているセンターの皆様にも、改めて感謝しています。

(愛東運輸株式会社 M.S 刈谷市 避難元:郡山市)









#### 私のおすすめの一冊 第5回

# ① 『かさぶたくん』 やぎゅう げんいちろう・さく

(かがくのとも傑作集 福音館書店)



息子におすすめの 一冊の趣旨を話した ら、孫が好きな絵本を 10 冊以上貸してく れました。中でも「これ」が一番らしい。連 続で何度も続けて読

んで欲しい、と止まらなかったらしい。孫の母親 (息子の妻)によると、この本は、孫が産まれて すぐに、お隣さんからお下がりでもらったもの。 お隣さんが「まだ早いけど、うちの子どもたちが 好きで読んだやつ」とのこと。こうして絵本は近 所付き合いが深くなるツールとなった。孫は現在 5歳で、来年小学校に入ります。

私たち夫婦の読み語りは妻の思いが強く、私たちの子育ての時によく読みました。思い出が深いのは、寝かせるのに読んでやるのですが、いつも妻が子どもより先に寝てしまいます。「おかあさん、おかあさん、寝ちゃダメ」と呼ぶ子どもの声は今も忘れられない。その内、子どもは寝てしまうの

です。私が読む時は、大げさなジェスチャーを入れ、声色を変えてやりました。これは寝かせるには不向きです。東山保育園で、読み聞かせの会があって、小学校の先生の男親がいて、それはそれは上手かった。拍手が最高に出て、盛り上がったのも良き思い出です。

絵本はそれ自体に価値があるけど、こういうエピソードがあって、一体となって心に残っています。

さて『かさぶたくん』は、怪我をした時にできるあれです。怪我が治る時にできて、かゆくなり、無理に取るとまた血が出るので、後悔します。親は取っちゃダメ、と言いますが、止まらない。きっと孫も同じ思いでいるのでしょう。我慢していると知らぬ間にケガも治ってかさぶたも無くなっています。かさぶたはあっちにできたり、こっちにできたり、子どもにとって、かさぶたは大きな出来事!読んで私も子どものころを思い出しました。 (編集委員:瀧川裕康)

# 

# 18歳で成人を迎えて想うこと ①

成年年齢が、2022年4月から、20歳から18歳に引き下げられました。約140年ぶりに成年の定義が見直されました。選挙権やいろいろな契約が可能になるなど社会的な変化があります。このような変化、状況について、当事者の若者はどう感じているのでしょう?シリーズで若者の声を聞いていきます。

私はこの春から大学 1 年生になり、気が引き締まる思いでの新年度が始まりました。(18 歳で)成人を迎え、社会の一員としての 1 歩を踏み出すことができて、とても嬉しいです。

大学生活では、社会福祉士になるという自分の目標に向かって勉学に励み、努力を続けていきたいと思います。また、何事も「まずは挑戦してみよう!」という気持ちを忘れず、自信をもって一人前の大人になれるよう、サークル活動やボランティア、アルバイトなど、たくさんの経験をしたいです。 佐藤らら(避難元:福島市)

#### 【イベント情報】\*開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

開催日	イベント名	内容(主催など)	会場
6/18 (±) 10:30~12:00	オンラインあおぞら カフェ「お香を楽し む」	ハーブの「お香」で癒しを体験します。 講師:鈴村さん 主催:あおぞらカフェ実 行委員会	オンライン
6月中(日程は天 気により調整)	濱田農園農業体験交 流会「玉ねぎの収穫」	昨年植えた玉ねぎの収穫と除草作業を行い ます。参加申込者には後日日程を連絡しま す。主催:農業体験交流会実行委員会	知多郡東浦町 (チラシ地図参照)
7/24(日) 10:00~15:00	甲状腺エコー検診& 交流相談会	甲状腺エコー検診と交流相談会 (共催:民医 連・愛知県被災者支援センター)	名南病院 (名古屋市南区)

## さっちゃんのレシピ 「ミートローフのマッシュポテト飾り」



#### 【材料】

- 合いびきミンチ:300g、玉ねぎ:中1個、卵:1個、パン粉:大さじ4、牛乳:大さじ4、ショウガ:1かけ、塩:小さじ1/3、しょうゆ:小さじ1、ケチャップ:大さじ3、コショウ、ナツメグ:少々
- じゃがいも:中3個、卵:1/2個、牛乳:大さじ2~3、塩:小さじ1/3、コショウ:少々

#### 【作り方】

①玉ねぎとショウガはみじん切りにしてAの材、料全部をよく混ぜる。(\*玉ねぎは生のま

まの方が歯ごたえがあるので、炒めない)

- ② ①をパイ皿などの耐熱皿にしき詰めて、180℃ のオーブンで 15 分焼く。(\*容器によって肉の 厚みが違うので火が通っているか確認を!)
- <Bの材料でマッシュポテトを作る>
- ① じゃがいもの皮をむいて適当な大きさに切り、 柔らかくなるまでゆで、熱いうちに裏ごしに する。
- ② ③に卵、牛乳、塩、コショウを入れて、よく 混ぜて滑らかにする。(\*固すぎると絞りだし 用の口金から出にくいので、牛乳を足して調 筋)
- ③ ④を、口金を付けた絞りだし用の袋に入れ、 焼けた②の上に絞り出して、きれいに飾る。
- ④ ⑤をオーブンに入れ、マッシュポテトに焦げ目がつくまで焼いて、出来上がり。(\*食卓には耐熱容器のまま出す。容器が熱いのでやけどに注意!)

#### 《編集後記》

- ・ローゼル (ハイビスカスティーに使われる) の種を蒔いたら発芽しました。ベランダのプランターでは窮屈だろうと思いますが、秋の始まり頃にきれいな花をつけるのが楽しみです。 (T.S)
- ・皆が言う 些細な日々が どれほどに 大切なこと 守りたいこと (T.H)
- ・戦禍の元でも、ウクライナの人々は種を蒔き、秋冬へ向けての生活に備えている。愛知県へ避難して きた女性たちは一様に、土が恋しいと訴える。日常の畑作業を取り戻したいと。(T.K)